

■主な施策

(1) 安全・安心の推進

ア 輸送の安全性の向上

- (ア) バス車両への安全装置の導入 107両
- (イ) ドライブレコーダーの機能強化 205両
- (ウ) 鶴舞線可動式ホーム柵の整備
- (エ) 運輸安全マネジメントの推進
- (オ) 乗務員の健康管理の充実

イ 災害対策・セキュリティ強化

- (ア) 地下鉄構造物の耐震補強 1 駅及び3 区間
- (イ) 浸水警報装置の整備
- (ウ) 想定し得る最大規模の風水害への備え
- (エ) 地下鉄車内カメラの設置 東山線60両 (10編成)
- (オ) 地下鉄駅構内カメラの増設

ウ 計画的な維持管理

- (ア) バス車両の更新 107両
- (イ) バス料金箱の更新
- (ウ) 地下鉄車両の主要電気機器更新
- (エ) バス停留所施設管理システムの開発
- (オ) 地下鉄構造物の長寿命化
- (カ) 地下鉄駅エレベーター・エスカレーターの更新
- (キ) 地下鉄電気設備の更新

(2) 快適性・利便性の高いサービスの提供

ア 施設のリニューアル

- (ア) バスターミナルの環境改善
- (イ) バス停留所施設の整備・改修
- (ウ) 地下鉄駅のリニューアル
 - 全体改修 工事 上前津駅 (名城線)、栄駅 (名城線)、名城公園駅
 - 設計 星ヶ丘駅
 - 部分改修 設計 中村日赤駅、東別院駅、築地口駅
- (エ) 地下鉄駅のリフレッシュ
 - 伏見駅始め4 駅
- (オ) 地下鉄駅構内トイレのリニューアル
 - 工事 瑞穂運動場西駅始め8 駅9 箇所
 - 設計 名古屋駅始め8 駅8 箇所

イ 誰もが利用しやすい環境づくり

- (ア) 地下鉄駅エレベーターの整備
 - 工事 伏見駅、御器所駅、本山駅、新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅
 - 設計 本郷駅
- (イ) 名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の改善
 - 金山駅、六番町駅、東海通駅、港区役所駅、築地口駅、名古屋港駅
- (ウ) 地下鉄駅のバリアフリー設備の充実
- (エ) バス車内への液晶式停留所名表示器の設置 107両
- (オ) わかりやすい案内サインの整備
 - 中村公園駅始め6 駅
- (カ) 戦略的な情報発信
- (キ) 市バス・地下鉄のマナー啓発

ウ ニーズに対応したサービスの提供

- (ア) 定期券WEB予約サービスの導入
 - 定期券購入の利便性向上を図るため、WEB予約サービスの導入に向けたシステム開発 (令和8年度中導入予定)
- (イ) クレジットカード対応券売機の設置拡大
 - クレジットカード対応券売機の増設
 - 名古屋駅 3台、栄駅 1台
- (ウ) キャッシュレス化の推進
 - a バス料金箱の更新 (再掲)
 - b キャッシュレス化の検討
- (エ) 東山線の混雑緩和策の検討

- (オ) 地下鉄駅ホームの冷房化
工事 名城公園駅、瑞穂運動場東駅、御器所駅（桜通線）、瑞穂運動場西駅、御器所駅（鶴舞線）
設計 新栄町駅、名古屋城駅、黒川駅
- (カ) データの利活用によるバス路線等の分析
- (キ) 「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した情報の整備

(3) まちの将来に向けた行動

ア まちづくり等との連携強化

- (ア) 栄駅の総合的な整備
 - a 駅施設の再配置に向けた調査
 - b 栄駅の有効活用に向けた調査
 - c 混雑緩和対策
- (イ) リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備
- (ウ) 大学との連携

イ 環境負荷の低減

- (ア) 照明のLED化
 - a バス停標識及びバスターミナル等の照明のLED化
 - b 地下鉄駅構内及び車内等の照明のLED化
- (イ) 高圧配電の送電ロスの削減に向けた準備
- (ウ) エコドライブの推進

ウ 子ども・子育てのサポート

- (ア) 「子ども・子育てサポートベンチ」の設置
- (イ) 授乳室の設置
- (ウ) 子ども向け特設サイトの開設

(4) 持続可能な経営の確立

ア 収入増加策の展開

- (ア) 広告料収入の確保
- (イ) 資産の有効活用
 - a 栄駅の有効活用に向けた調査（再掲）
 - b 東山線高架下用地の有効活用に向けた調査
 - c 星ヶ丘駅の有効活用に向けた調査
 - d その他の有効活用
- (ウ) 戦略的な利用促進策の展開
 - a 敬老バス利用者向け施策「アクティブシニアキャンペーン」
 - b 市バスを利用していない若年層向け施策「市バスでPetit（プチ）旅」
 - c 観光客向け施策「グルメチケット付き企画乗車券（仮称）」
- (エ) イベントの開催などによるお出かけ促進
 - a ウォーキングイベントの実施
 - b 体験型謎解きイベントの実施
 - c プロスポーツチームと連携した利用促進策の実施
 - d 他部局や民間事業者と連携した利用促進策の実施
- (オ) 寄附金収入の確保

イ 事業運営の省力化・効率化

- (ア) 市バスの管理委託の拡大
- (イ) 地下鉄車両の整備業務の効率化
- (ウ) レトロでんしゃ館・資料センターの機能分化
- (エ) 市バス事業の経営基盤強化
- (オ) 地下鉄駅コンシェルジュの廃止
- (カ) ハッチャーキッズクラブの廃止

ウ 人材の確保・職員力の向上

- (ア) 安定的な人材確保のための取組みの実施
- (イ) 働きやすい環境づくり
 - a 市バスの乗務員待機所や女性職員用トイレ等の整備
 - b 地下鉄駅等における女性職員用施設の設置や仮眠室の個室化等を実施
- (ウ) 職員の教育訓練体制の強化
- (エ) 接客サービス向上のための取組みの実施

(5) 貸切バスの料金改定

ア 貸切バスの料金改定（令和6年7月実施）